令和６年度 第２回苫小牧市航空機騒音対策協議会

日時：令和６年１０月８日（火）
午後６時３０分
場所：ＪＦＥリサイクルプラザ苫小牧
２階　会議室

次　　第

１　開　　会

２　会長挨拶

３　副市長挨拶

４　議　　題

（１）報告事項

ア 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転について

① 「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転」に関する主な経過について【資料 １－１】

② 米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地等への訓練移転について　【資料 １－２】

③ 「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」
での要請事項及び回答について　【資料 １－３】

④ 令和６年度日米共同統合演習（実動演習）について　【資料 １－４】

⑤ 令和６年度日米共同統合演習（実動演習）に関する要請事項について【資料 １－５】

⑥ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転対応について　【資料 １－６】

⑦ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に伴う騒音測定地点について　【資料 １－７】

⑧ 米軍再編に係る各基地の訓練移転経過について　【資料 １－８】

イ 米軍再編に伴う米軍機訓練移転について

① 米軍再編に係る各基地への訓練移転について　【資料 ２－１】

② 沖縄県の負担軽減調査結果について　【資料 ２－２】

５　そ の 他

資料１－１

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転」に関する主な経過

令和６年９月 26 日	「米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地等への訓練移転について」（通知）
令和６年９月 27 日	「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」開催（北海道防衛局）
	「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請及び苫小牧市からの個別要請
	「第 29 回　苫小牧市在日米軍再編問題対策会議」開催
	商工会議所、町内会連合会、警察署、医師会ほか関係機関への協力要請

資料１－２

（お知らせ）

令和６年９月２６日
防　　衛　　省

米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地等への訓練移転について

米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地等への訓練移転（日米共同訓練）を下記のとおり実施しますので、お知らせします。
今般の訓練移転は１４８回目～１５０回目です。
国内への訓練移転は、平成１８年５月の「再編の実施のための日米ロードマップ」に基づき、二国間の相互運用性の向上と米軍飛行場における訓練活動の影響の軽減のために行われるものです。

記

１．三沢飛行場から千歳基地への訓練移転

（１）訓練期間：令和６年１０月２１日（月）～１１月１日（金）
※　訓練期間の前後に、訓練参加機及び人員・物資の輸送機の展開・撤収が行われる予定

（２）使用基地：航空自衛隊千歳基地

（３）使用空域：北海道西方空域、三沢東方空域

（４）訓練内容：戦闘機戦闘訓練等

（５）参加部隊：（米　軍）第３５戦闘航空団（三沢）
（自衛隊）第２航空団（千歳）

（６）参加規模：タイプⅡ
（米　軍）Ｆ－１６×１２機程度、人員１８０名程度
（自衛隊）Ｆ－１５×１２機程度

２．岩国飛行場から小松基地への訓練移転

（１）訓練期間：令和６年１０月２８日（月）～１１月１日（金）
※　訓練期間の前後に、訓練参加機及び人員・物資の輸送機の展開・撤収が行われる予定

（２）使用基地：航空自衛隊小松基地

（３）使用空域：石川沖空域、北海道西方空域、三沢東方空域及び四国沖空域

（４）訓練内容：戦闘機戦闘訓練等

（５）参加部隊：（米　軍）第１２海兵航空群（岩国）
（自衛隊）第６航空団（小松）

（６）参加規模：タイプⅡ
（米　軍）ＦＡ－１８×６機程度、人員８０名程度
（自衛隊）Ｆ－１５×８機程度

３．嘉手納飛行場から築城基地への訓練移転

（１）訓練期間：令和６年１０月２１日（月）～１１月１日（金）
※　訓練期間の前後に、訓練参加機及び人員・物資の輸送機の展開・撤収が行われる予定

（２）使用基地：航空自衛隊築城基地

（３）使用空域：山口沖空域、九州西方空域、四国沖空域、

（４）訓練内容：戦闘機戦闘訓練等

（５）参加部隊：（米　軍）第１８航空団（嘉手納）
（自衛隊）第８航空団（築城）

（６）参加規模：タイプⅡ
（米　軍）Ｆ－１６×１０機程度、人員１８０名程度
（自衛隊）Ｆ－２×８機程度

※　本内容については、今後、変更される場合があります。

資料１－３

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」での要請事項及び回答

●北海道、千歳市、苫小牧市の３者で構成する
「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

１　土曜日・日曜日及び早朝・深夜の訓練を実施しないことなど、これまでの両市との協議経過を踏まえ、協定の内容を確実に遵守すること。
また、米軍帰還に際しても、土曜日・日曜日及び早朝・深夜に飛行することのないよう配慮すること。

２　自衛隊が通常使用している訓練空域や飛行経路、飛行方法によること。

≪回答≫

①及び②については包括的に回答させていただきます。

千歳基地における訓練の実施に当たり、土日及び早朝・深夜における訓練はもとより、訓練空域、飛行経路及び飛行方法などについても、航空自衛隊と同様の態様となります。

また、協定についても平成19年１月に、千歳市及び苫小牧市と締結した「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する協定書」の内容を遵守するとともに、これまでの関係自治体との協議・確認事項を踏まえ、訓練移転を実施してまいります。

また、米軍帰還の際の土日及び早朝・深夜の飛行につきましても、地元に配慮するよう、米側に求めてまいります。

３　米軍人の外出時等の対応など本道滞在中における規律の維持に万全の対応を行うこと。

≪回答≫

米軍人の本道滞在中における北海道防衛局の対応については、前回と同様、必要に応じてサポートを行い、トラブルの未然防止に努めてまいります。

規律の維持についても、防衛省として平素から米側に対して、隊員の教育や綱紀粛正の徹底を図る等、様々なレベルから申し入れを行っており、改めて当局からも米軍に申入れを行ってまいります。

４　訓練期間中は、貴局において騒音測定を実施するとともに、できる限り早期に結果を公表すること。

≪回答≫

訓練期間中における騒音測定については、これまでと同様に実施し、騒音測定結果についても、速やかに公表したいと考えています。

５　訓練の安全管理及び参加する戦闘機の整備・点検など安全確保に万全を期すこと。

≪回答≫

航空機の運用に当たっては、安全の確保が大前提であり、航空機による事故は地域の方々に不安を与える、あってはならないものであると認識しています。

当局としては、訓練部隊に対し、航空機の点検・整備の確実な実施や安全管理に万全を期すよう求めてまいります。

６　説明会や米軍ブリーフィング等の開催など、訓練に関する情報を住民、自治体、報道機関に詳細に提供すること。

≪回答≫

当局としては、地元の皆様への情報提供については、大変重要と認識していることから、米軍によるブリーフィングの開催を求めているところです。

また、当局としても説明会の開催を予定しているところです。

関係自治体等への情報提供については、引き続きお知らせできる情報が得られ次第、迅速かつ確実な情報提供に努めてまいります。

７　訓練終了後の「検証」を必ず行うこと。

≪回答≫

訓練終了後における訓練の状況及び騒音測定結果に係る「検証」については、これまでと同様、可能な限り対応してまいりたいと考えています。

８　これまで実施された訓練移転によって、沖縄の負担がどの程度軽減されたのか、期限を決めて目に見える形で検証すること。

≪回答≫

米軍再編に係る訓練移転は、嘉手納飛行場における航空機による訓練だけでなく、三沢及び岩国飛行場の航空機が嘉手納飛行場に飛来して実施している訓練も移転の対象としており、嘉手納飛行場における更なる騒音軽減に資するものです。

国内・国外の訓練移転を積み重ねることにより、嘉手納飛行場の周辺住民の方々のご負担を軽減できるものと考えています。

他方、嘉手納飛行場の運用の全てを把握しているわけではなく、航空機訓練移転による負担軽減の効果を定量的にお示しすることは困難であることを御理解願います。

●苫小牧市の個別要請

１　米軍外来機における飛来訓練等の抑制など、沖縄県の方々が負担軽減を実感できるように努めること。

≪回答≫

日米両国は、航空機の訓練移転を行う期間中、沖縄の飛行場における米軍の訓練活動の影響について配慮することとしており、防衛省としても、訓練移転の都度、米側に対し配慮要請を行っています。

その上で、嘉手納飛行場に所属する航空機の訓練移転について、これまでに、計５２回実施したところであり、直近の訓練移転では、本年６月に実施され、Ｆ－２２戦闘機１０機等が、約２週間沖縄を離れることになりました。

訓練移転により、沖縄で行われる訓練の一部が本土等に移転されたことで、沖縄における駐留及び訓練時間が軽減されることから、一定程度の負担が軽減されていると考えています。

防衛省としては、嘉手納飛行場の騒音実態の把握に継続的に努めており、実態を踏まえて、米軍に対し、騒音規制措置の遵守や、地元の重要な行事に配慮するよう申入れを行い、さらに、住宅防音工事の助成など、地域社会との調和に係る各種施策を通じて、周辺住民の方々のご負担を可能な限り軽減できるよう努めるなどの措置を講じているところです。

いずれにしましても、今後とも米側に対し、嘉手納飛行場における騒音の軽減が図られるよう一層の協力を求めるとともに、今後も訓練移転を着実に積み重ねるなど、全力を挙げて取り組んでまいります。

２　千歳基地では、航空機からの部品落下が繰り返し発生していることから、米軍機を含む機体の整備、点検の強化を図るとともに、事故が発生した場合は、原因究明及び再発防止策について速やかに情報提供を行うこと。

≪回答≫

（自衛隊について）

航空機による事故等により、基地周辺住民の方々に不安を与えることがあってはならないのは当然です。

防衛省・自衛隊としては、機体の整備について、飛行前後の点検のみならず、千歳基地、補給処等において定期的な整備の点検を行い、飛行安全及び品質管理の上で重要な構成品については、定期的に交換を行う等、機体の安全性を確保する上で必要な措置を講じています。

さらに、隊員の教育においては、パイロットの安全教育に万全を期すことはもとより、整備員についても、安全教育や飛行前後の機体の整備点検等を通じ、安全確保に関する指導を行っています。

防衛省・自衛隊としましては、地域に与える影響を最小限に留めるよう、引き続き自衛隊機の安全管理の徹底を行い、部品紛失・事故等の防止に引き続き万全を期してまいる所存です。

また、万一、事故等が発生した場合には、これまでと同様、地元自治体等への情報提供について、適切に対応してまいります。

（米軍について）

米軍機の飛行に際しては、安全の確保が大前提であり、引き続き米側に対し、安全面に最大限の配慮を払うとともに、地域住民に与える影響を最小限にとどめるよう求めていく考えです。

なお、千歳基地での訓練移転において米軍戦闘機や輸送機の事故が発生した場合には、その原因及び今後の対応について情報が得られ次第、苫小牧市を含む関係自治体に迅速かつ確実に情報提供を行うなど、適切に対応してまいります。

資料１－４

統合幕僚監部　報道発表資料

JOINT STAFF PRESS RELEASE

http://www.mod.go.jp/js/

（お知らせ）

令和６年９月２６日
統 合 幕 僚 監 部

令和６年度日米共同統合演習（実動演習）「Ｋｅｅｎ　Ｓｗｏｒｄ２５」について

自衛隊と米軍は、下記のとおり令和６年度日米共同統合演習（実動演習）を実施します。

本訓練は、強固な日米同盟の下、日米の即応態勢及び相互運用性を向上させるものです。自衛隊と米軍は力による一方的な現状変更の試みは断じて許さないという強い意志の下、あらゆる事態に対応するための抑止力・対処力を強化し、我が国の防衛及び地域の平和と安全の確保に寄与していく考えです。

記

１　演習の目的

我が国防衛のための日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、共同統合運用能力の維持・向上を図る。

２　実施時期（基準）

令和６年１０月２３日（水）～１１月１日（金）

３　実施場所（基準）

（１）自衛隊施設、在日米軍施設及び区域
（２）民間空港・港湾
（３）奄美大島、徳之島、沖永良部島、我が国周辺海空域等

４　主要訓練項目

（１）主要部隊司令部における指揮所活動
（２）共同統合対艦戦闘
（３）統合強制進入作戦（水陸両用作戦・空挺作戦等）
（４）統合防空ミサイル防衛
（５）島しょ防衛
（６）海上交通の安全確保
（７）重要施設等防護
（８）統合後方補給・衛生
（９）統合指揮通信システム
（10）領域横断作戦の深化

5　演習参加部隊等

（1）自衛隊

ア　統合幕僚監部、陸上幕僚監部、海上幕僚監部、航空幕僚監部、情報本部及び自衛隊サイバー防衛隊

イ　陸上自衛隊

陸上総隊、各方面隊等

ウ　海上自衛隊

自衛艦隊、各地方隊等

エ　航空自衛隊

航空総隊、航空支援集団、宇宙作戦群等

（2）米　軍

インド太平洋軍、太平洋陸軍、太平洋艦隊、太平洋空軍、太平洋海兵隊、在日米軍、インド太平洋宇宙軍等

（3）同志国

豪軍及び加軍

6　演習参加規模

（1）自衛隊：人員約３３，０００名、艦艇　約３０隻、航空機約２５０機

（2）米　軍：人員約１２，０００名、艦艇　約１０隻、航空機約１２０機

7　その他

（1）日米共同統合演習は昭和６０年度に開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施。実動演習は今回で１７回目にあたる。

（2）豪州、加国、仏国、独国、印国、伊国、リトアニア、蘭国、新国、比国、韓国、西国、英国及びＮＡＴＯからオブザーバーを招へい予定

令和6年度日米共同統合演習（実動演習）について

【演習の目的】

我が国防衛のための日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で17回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和6年10月23日（水）～11月1日（金）の間（前後に準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

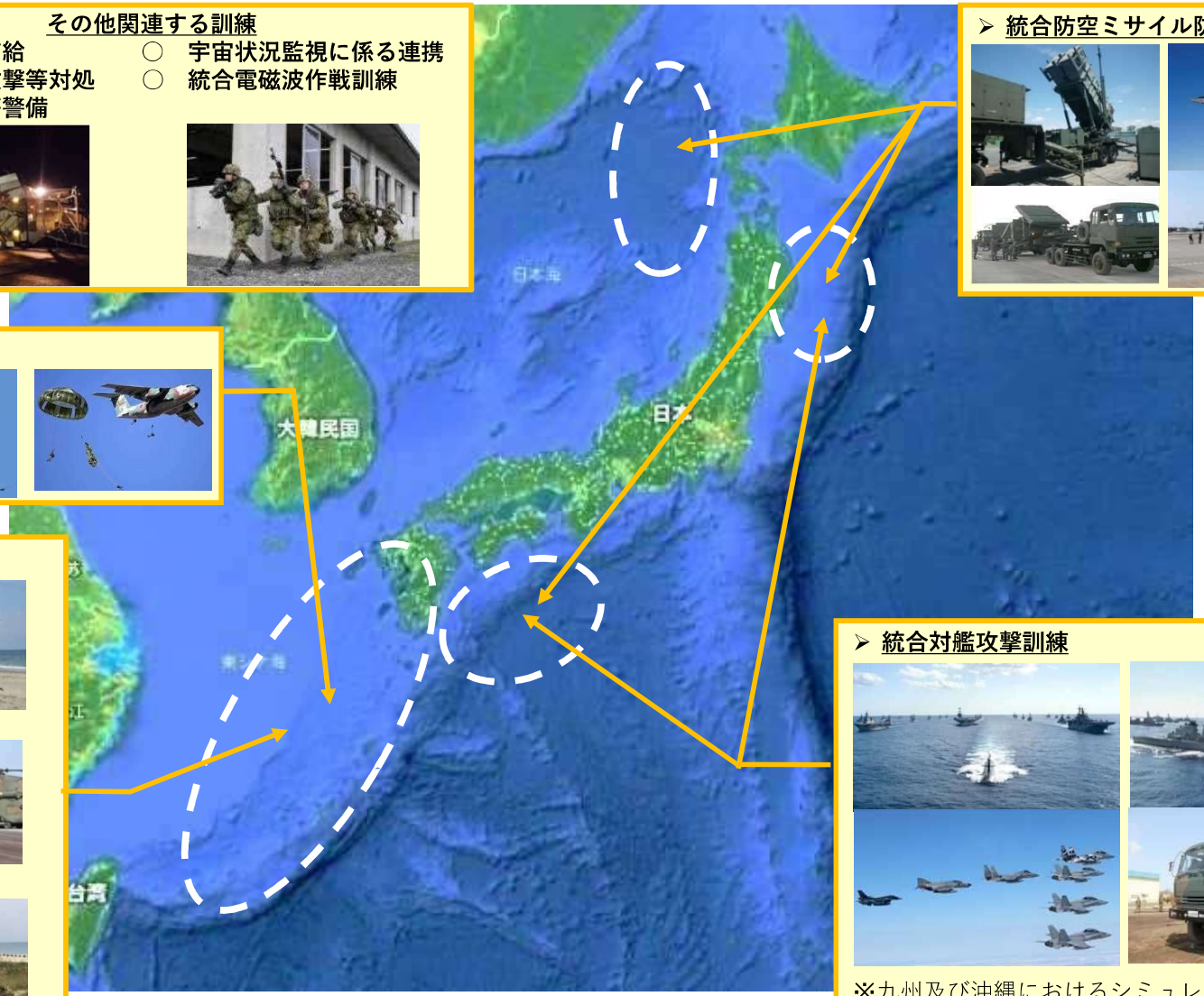
【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和6年度日米共同統合演習（実動演習）について

その他関連する訓練

- ○ 統合後方補給
- ○ サイバー攻撃等対処
- ○ 協同基地等警備
- ○ 宇宙状況監視に係る連携
- ○ 統合電磁波作戦訓練



➢ **統合防空ミサイル防衛訓練**

➢ **空挺作戦**

➢ **水陸両用作戦**

➢ **統合対艦攻撃訓練**

※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

令和6年度日米共同統合演習（実動演習）の北海道における訓練について

同演習において実施する北海道内の訓練は、

① 陸上作戦（実弾射撃訓練）
　矢臼別演習場、計根別着陸場
② 航空作戦（統合防空ミサイル防衛訓練、統合対艦攻撃訓練、高射部隊展開訓練）
　千歳基地、奥尻分屯基地
③ 統合後方補給・衛生訓練（補給品輸送輸送）
　陸自近文台分屯地、白老駐屯地、安平駐屯地
④ 統合電磁波作戦訓練
　留萌駐屯地

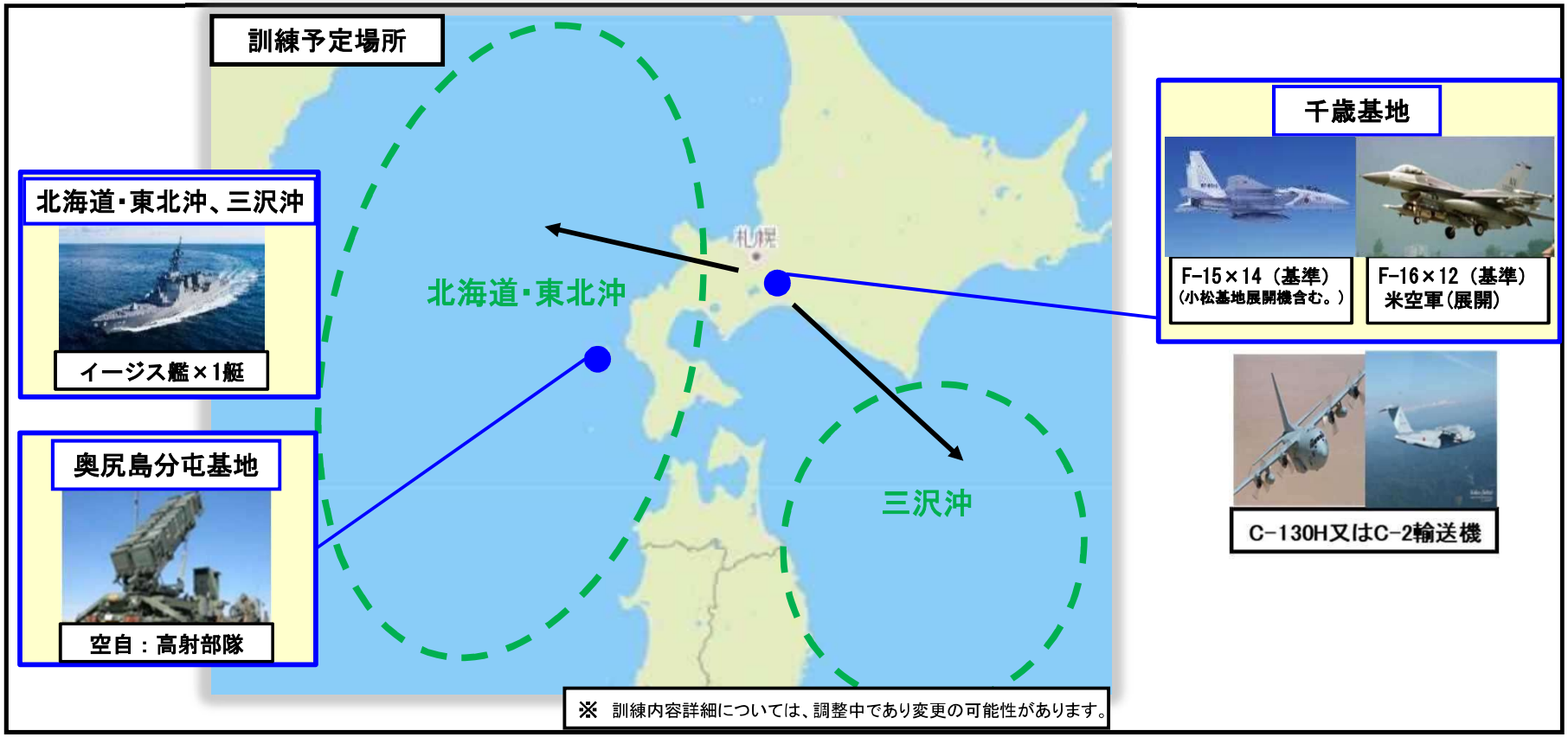
を予定しています。
訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

北海道内で実施を計画している訓練内容

②航空作戦（統合防空ミサイル防衛訓練、統合対艦攻撃訓練、高射部隊展開訓練）

海上自衛隊のイージス艦、航空自衛隊の航空部隊等及び米軍等が北海道・東北沖及び三沢沖で実施される統合防空ミサイル防衛訓練、統合対艦攻撃訓練及び高射部隊展開訓練に参加し、対処・連携要領を演練します。

【期　　間】 令和6年10月23日（水）～11月1日（金）　（土、日曜日を除く。）※10/29（火）、10/30（水）は夜間飛行を実施予定
【参加部隊】 海上自衛隊：イージス艦　航空自衛隊：航空部隊、高射部隊、輸送機部隊、米空軍
※　訓練期間前後及び期間中、人員及び装備品等の輸送のため、輸送機（C－130H又はC－2）の運航を計画する可能性があります



資料１－５

令和６年度日米共同統合演習（実動演習）
「Ｋｅｅｎ　Ｓｗｏｒｄ２５」に関する要請

９月２６日に公表されました、令和６年度日米共同統合演習（実動演習）「Ｋｅｅｎ　Ｓｗｏｒｄ２５」につきましては、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るものとされており、理解する必要があると考えますが、訓練が実施されることは、航路下地域へ騒音等の影響が増大されるとともに、市民生活に不安や支障を与えることが懸念されます。

つきましては、市民の安全確保と生活環境を守るため、下記の事項について、最大限の配慮と万全の措置を講じることを強く要望いたします。

記

１　共同訓練の実施にあたっては、戦闘機等の点検整備など、国の責任において徹底した安全対策を講じるとともに、事件・事故の防止などに万全を期すこと。

２　これまでの航空自衛隊の運用と同様に、市街地上空飛行及び低空飛行を避けるとともに、土日及び深夜早朝の飛行について配慮すること。

３　戦闘機等の飛行に際しては、騒音の低減に配慮するとともに、騒音測定を行い、結果について速やかに公表すること。

４　米軍人の外出時等の対応など、滞在中における規律維持に万全の対応を行うこと。

５　訓練等の情報について、可能な限り早期に情報提供すること。

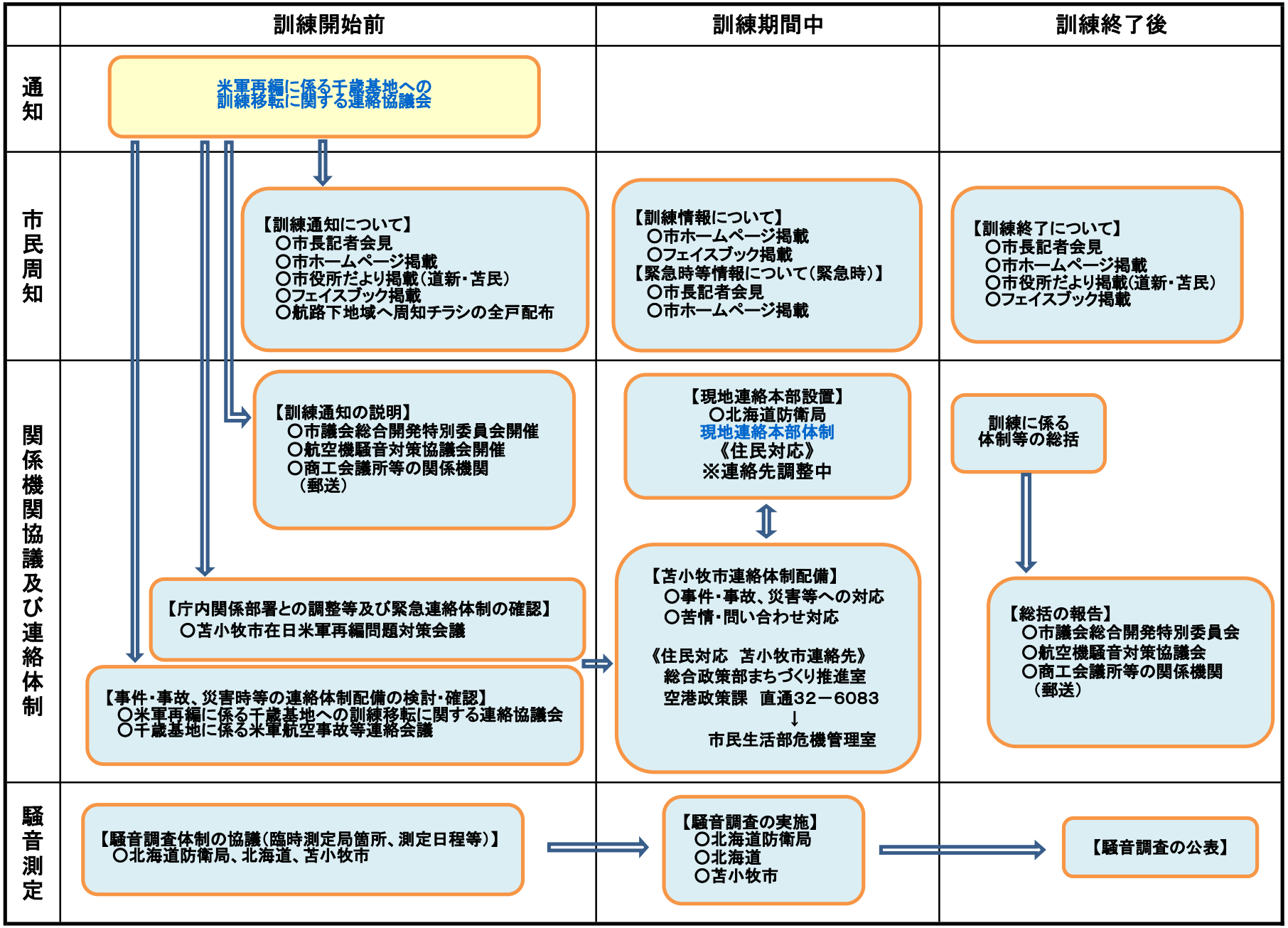
令和６年９月２７日

北海道防衛局長　　福 島　邦 彦　様
航空自衛隊千歳基地司令　田 中　信 隆　様

苫小牧市長　　岩 倉　博 文

資料１－６

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転対応について



苫小牧市より ○○地区 にお住まいの方へお知らせです

防衛省より、以下のとおり通知がありましたのでお知らせします。

訓練計画概要

<米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地への訓練移転>

○ 訓 練 期 間 ： **令和６年１０月２１日（月）～ １１月１日（金）**
※前後に展開、撤収期間あり

○ 訓 練 空 域 ： 北海道西方空域、三沢東方空域

○ 訓 練 内 容 ： 戦闘機戦闘訓練等

○ 参 加 部 隊 ：【米軍】第３５戦闘航空団（三沢）
【航空自衛隊】第２航空団（千歳）

○ 参 加 規 模 ： タイプⅡ
【米軍】Ｆ－１６×１２機程度、人員１８０名程度
【航空自衛隊】Ｆ－１５×１２機程度

※三沢飛行場から千歳基地に訓練移転として展開した上で訓練を実施しますが、
同じ時期に、以下の日米共同統合演習にも参加することとしています。

<令和６年度日米共同統合演習（キーン・ソード２５）※千歳基地関係分>

○ 訓 練 期 間 ： 令和6年１０月２３日（水）～１１月１日（金）※前後に展開、撤収期間あり

○ 訓 練 内 容 ： 航空作戦（統合対艦攻撃訓練等）

○ 参 加 部 隊 ： 【米軍】Ｆ－１６×１２機
【航空自衛隊】Ｆ－１５×１４機
※内容については、今後、変更される場合があります。

訓 練 情 報

○ 訓練期間における、深夜・早朝（22:00～7:00）及び土日の訓練は予定されていません。
○ 10月29日（火）、30日（水）は夜間飛行を実施する予定です。

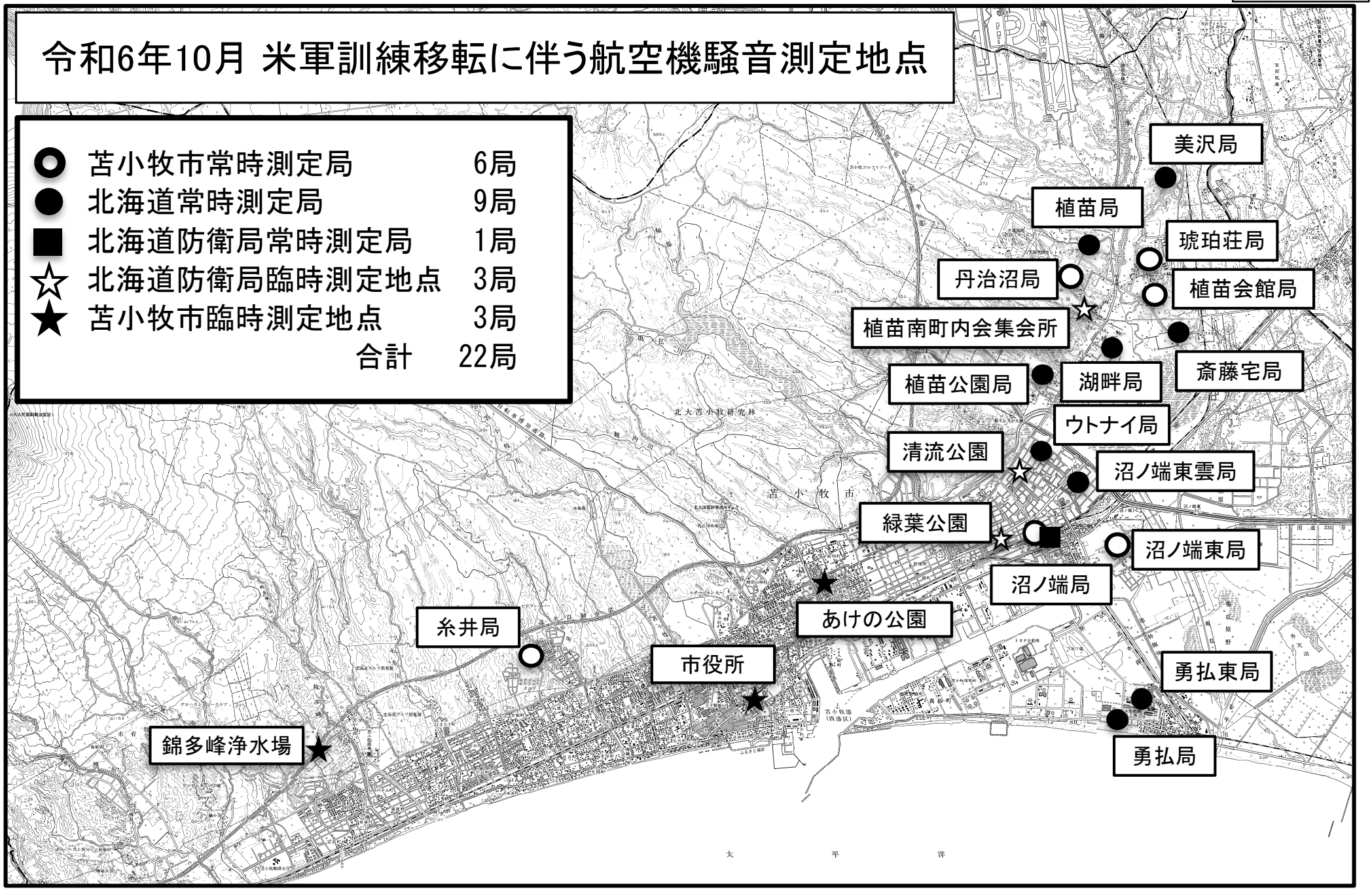
苫小牧市の対応

○ 北海道防衛局及び航空自衛隊千歳基地に対して、戦闘機等の点検整備など、徹底した安全対策や市街地上空飛行及び低空飛行を避けることなどを申入れています。
○ 関係機関と緊密に連携を図り、いち早い情報収集に努め、訓練情報や騒音測定結果を市ホームページで随時お知らせします。

＜問い合わせ先＞
苫小牧市役所 総合政策部 まちづくり推進室 空港政策課
【電話】（直通）３２－６０８３

資料１－７

令和6年10月 米軍訓練移転に伴う航空機騒音測定地点



資料１－８

◆ 米軍再編に係る各基地の訓練移転経過 ◆

年度	基地名	訓練期間	参加規模（米軍）	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考
18	計画	タイプⅠ（１回につき１～　５機の米軍機が１日～　７日間参加）：１回程度					H19.1.11通知、３月を目途にとし回数の明記はないが１回と思われる
	築城	H19.3.5(月)～3.8(木)	F15×4機　54人	Ⅰ	嘉手納	道の連絡会議	
	計	築城:1回		Ⅰ:1回	嘉手納:1回	1基地派遣	
19	計画	タイプⅠ（１回につき１～　５機の米軍機が１日～　７日間参加）：１２回程度 タイプⅡ（１回につき６～１２機の米軍機が８日～１４日間参加）：　３回程度					H19.1.31通知
	小松	H19.5.16(水)～5.23(水)	F15×5機 約80人	Ⅰ	嘉手納	2名派遣	19日土曜・20日日曜の訓練は行われていない。
	築城	H19.6.18(月)～6.22(金)	FA18×5機　39人	Ⅰ	岩国	無	
	三沢	H19.7.16(月)～7.21(土)	F15×5機 約80人 F16×4機	Ⅰ	嘉手納 三沢	2名派遣	16日祝日・21日土曜の訓練は行われていない
	新田原	H19.9.3(月)～9.5(水)	F15×2機　14人	Ⅰ	嘉手納	2名派遣	
	百里	H19.10.15(月)～10.19(金)	F16×5機　77人	Ⅰ	三沢	2名派遣	
	小松	H19.11.5(月)～11.16(金)	F15×12機 約180人	Ⅱ	嘉手納	無	Ｆ１５事故調査のため中止
	百里	H20.1.15(火)～1.18(金)	F16×5機　85人	Ⅰ	三沢	無	
	新田原	H20.2.12(火)～2.15(金)	FA18×2機　4人	Ⅰ	岩国	無	
	千歳	H20.2.25(月)～2.28(木)	FA18×4機　13人	Ⅰ	岩国	2名派遣	悪天候のため午前1回2日の訓練
		千歳:1回　小松:1回 三沢:1回　築城:1回 百里:2回　新田原:2回 計:8回		Ⅰ:8回 Ⅱ:0回	三沢:3回 岩国:3回 嘉手納:3回	5基地派遣	
20	計画	タイプⅠ（１回につき１～　５機の米軍機が１日～　７日間参加）： タイプⅡ（１回につき６～１２機の米軍機が８日～１４日間参加）：　併せて１０回程度					H20.6.20通知
	三沢	H20.7.23(水)～7.30(水)	F15×6機 約80人	Ⅱ	嘉手納	2名派遣	26日土曜・27日日曜の訓練は行われていない。
	新田原	H20.9.2(火)～9.4(木)	F15×2機　18人	Ⅰ	嘉手納	無	
	小松	H20.12.1(月)～12.5(金)	F16×6機 約80人	Ⅱ	三沢	無	
	千歳	H20.12.8(月)～12.12(金)	F15×5機　72人	Ⅰ	嘉手納	2名派遣	
	新田原	H21.2.23(月)～2.27(金)	F15×5機　81人	Ⅰ	嘉手納	無	
	計	千歳:1回　小松:1回 三沢:1回　築城:0回 百里:0回　新田原:2回 計:5回		Ⅰ:3回 Ⅱ:2回	三沢:1回 岩国:0回 嘉手納:4回	2基地派遣	
21	計画	タイプⅠ（１回につき１～　５機の米軍機が１日～　７日間参加）：１２回程度 タイプⅡ（１回につき６～１２機の米軍機が８日～１４日間参加）：　３回程度					H21.1.28通知
	千歳	H21.4.20(月)～4.23(木)	FA18×5機　32人	Ⅰ	岩国	2名派遣	
	三沢	H21.7.25(土)～8.1(土)	FA18×7機 約70人	Ⅱ	岩国	無	7/25・26・8/1の土日の訓練は行われていない。
	百里	H21.10.2(金)～10.9(金)	F15×5機　83人	Ⅰ	嘉手納	無	機材の点検及び天候不良のため、訓練は全て中止.テスト飛行1回のみ。
	小松	H21.11.14(土)～11.20(金)	FA18×7機 F16×5機 約180人	Ⅱ	①岩国 ②三沢	無	11/14・15の土日の訓練は行われていない。
	百里	H22.1.29(金)～2.5(金)	F15×6機　87人	Ⅱ	嘉手納	無	1/30・31の土日の訓練は行われていない。
	三沢	H22.2.27(土)～3.12(金)	FA18×8機 約150人 F16×4機	Ⅱ	岩国	無	2/27・28,3/6・7の土日の訓練は行われていない。 千歳基地F15が空域で訓練に参加
	築城	H22.3.5(金)～3.12(金)	F16×5機　約90人	Ⅰ	三沢	無	3/6・7の土日の訓練は行われていない。
	計	千歳:1回　小松:1回 三沢:2回　築城:1回 百里:1回　新田原:0回 計:6回		Ⅰ:2回 Ⅱ:4回	三沢:2回 岩国:4回 嘉手納:1回	1基地派遣	
22	計画	タイプⅠ（１回につき１～　５機の米軍機が１日～　７日間参加） タイプⅡ（１回につき６～１２機の米軍機が８日～１４日間参加）タイプⅠ・Ⅱあわせて１５回程度					H22.1.29通知
	小松	H22.6.5(土)～6.18(金)	FA18×10機 約180人	Ⅱ	岩国	無	6/12・13の土日の訓練は行われていない。
	三沢	H22.10.15(金)～10.23(土)	FA18×9機　約150人 (計画:10機 約160人)	Ⅱ	岩国	無	千歳基地F15が空域で訓練に参加 土日の訓練は行われていない。
	千歳	H22.11.8(月)～11.19(金)	F15×12機　約170人 (計画:12機 約190人)	Ⅱ	嘉手納	2名派遣	三沢基地F2が空域で訓練に参加。 土日の訓練は行われていない。
	小松	H22.12.1(水)～12.11(土)	F16×12機 約200人	Ⅱ	三沢	無	日米共同統合演習の一部として実施されたため土日の訓練有り。
	計	千歳:1回　小松:2回 三沢:1回　築城:0回 百里:0回　新田原:0回 計:4回		Ⅰ:0回 Ⅱ:4回	三沢:1回 岩国:2回 嘉手納:1回	1基地派遣	

年度	基地名	訓練期間	参加規模（米軍）	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考
23	計画	下半期に５回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を２～３回程度を目標に計画予定					H23.10.4通知
	築城	H23.7.8(金)～7.15(金)	F16×6機　約90人	Ⅱ	三沢	無	7/9・10の土日の訓練は行われていない。
	グアム	H23.10.10(月)～10.31(月) (実績:H23.10.10～10.28)	FA18×20機 約400人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった2週間以上の訓練をグアムへ移転。
	グアム	H23.12.1(木)～12.18(日) (実績:H23.12.5～12.19)	FA18×20機 約650人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。
	グアム	H24.2.6(月)～2.24(金)	F15×18機 約500人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納	無	
	百里	H24.2.13(月)～2.24(金)	FA18×6機 AV-8B×3機 約90人	Ⅱ	岩国	無	
	計	千　歳:0回　小　松:0回 三　沢:0回　築　城:1回 百　里:1回　新田原:0回 グアム:3回 計:5回		Ⅰ:0回 Ⅱ:2回 ｸﾞｱﾑ:3回	三　沢:1回 岩　国:3回 嘉手納:1回	派遣無し	
24	計画	１０回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を５回程度を目標に計画予定					H24.3.22通知
	グアム	H24.5.14(月)～6.8(金)	FA18×20機 約600人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。
	千歳	H24.9.5(水)～9.7(金)	FA18×4機　約20人	Ⅰ	岩国	2名派遣	
	グアム	H24.9.27(木)～10.25(木)	FA18×20機 約600人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。
	グアム	H24.11.29(木)～12.18(火)	FA18×20機 MV-22×4機 約880人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。
	新田原	H25.1.14(月)～1.18(金)	FA18×6機　約90人	Ⅱ	岩国	無	
	グアム	H25.1.21(月)～1.30(水)	F16×14機　約190人	ｸﾞｱﾑ	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。
	グアム	H25.1.29(火)～2.15(金)	F15×12機　約260人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納	無	
	計	千　歳:1回　小　松:0回 三　沢:0回　築　城:0回 百　里:0回　新田原:1回 グアム:5回 計:7回		Ⅰ:1回 Ⅱ:1回 ｸﾞｱﾑ:5回	三　沢:1回 岩　国:5回 嘉手納:1回	1基地派遣	
25	計画	グアム等への訓練移転を含み１０回程度の実施を目標に計画予定					H25.3.27通知
	新田原	H25.6.17(月)～6.21(金)	FA18×8機　約120人	Ⅱ	岩国	無	台風接近のため17～19日で終了
	千歳	H25.7.8(月)～7.12(金)	F16×6機　約80人	Ⅱ	三沢	1名派遣	
	グアム	H25.7.10(水)～8.2(金)	FA18×20機 約550人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。
	グアム	H25.8.12(月)～8.23(金)	F15×18機　約340人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納	無	嘉手納飛行場の訓練をグアム等へ移転。
	グアム	H25.10.28(月)～11.8(金)	F16×14機　約190人	ｸﾞｱﾑ	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。
	グアム	H25.12.2(月)～12.20(金)	FA18×20機 MV-22×4機 約1,120人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。
	グアム	H25.12.2(月)～12.20(金)	F15×14機 FA18×6機　約290人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。
	小松	H25.12.7(土)～12.14(土)	F15×6機　約90人	Ⅱ	嘉手納	無	悪天候のため9日、11日のみ実施
	グアム	H26.2.10(月)～2.28(金)	F16×12機　約260人	ｸﾞｱﾑ	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。
	グアム	H26.2.10(月)～2.28(金)	F15×18機　約420人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。
	計	千　歳:1回　小　松:1回 三　沢:0回　築　城:0回 百　里:0回　新田原:1回 グアム:7回 計:10回		Ⅰ:0回 Ⅱ:3回 ｸﾞｱﾑ:7回	三　沢:3回 岩　国:3回 嘉手納:4回	1基地派遣	

年度	基地名	訓練期間	参加規模（米軍）	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考
26	計画	グアム等への訓練移転を含み１０回程度の実施を目標に計画予定					H26.3.28通知
	三沢	H26.6.12(木)～6.24(火)	FA18×10機 約180人	Ⅱ	岩国	無	千歳基地F15が戦闘機戦闘訓練及び空対地射爆撃訓練に参加。
	グアム	H26.6.19(木)～7.10(木)	F15×16機 約320人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。
	グアム	H26.9.5(金)～9.26(金)	F15×16機 約320人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。
	グアム	H26.9.15(月)～10.7(火)	FA18×16機 MV22×4機 約1,140人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。
	新田原	H26.10.18(土)～10.31(金)	F15×12機 約200人	Ⅱ	嘉手納	無	
	小松	H26.11.7(金)～11.20(木)	F16×8機 約140人	Ⅱ	三沢	無	
	グアム	H26.12.3(水)～12.19(金)	F15×18機 約400人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。
	グアム	H27.2.2(月)～2.28(金)	F16×14機 約400人	ｸﾞｱﾑ	三沢	無	三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。
	グアム	H27.2.9(月)～2.28(金)	F15×18機 約410人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。
	百里	H27.3.9(月)～3.21(土)	FA18×5機 約60人	Ⅱ	岩国	無	
	計	千歳:0回 小松:1回 三沢:1回 築城:0回 百里:1回 新田原:1回 グアム:6回 計:10回		Ⅰ:0回 Ⅱ:4回 ｸﾞｱﾑ:6回	三沢:2回 岩国:3回 嘉手納:5回	派遣無し	
27	計画	グアム等への訓練移転を含み１０回程度の実施を目標に計画予定					H27.3.25通知
	グアム	H27.7.13(月)～8.7(金)	FA18×10機 約240人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。
	グアム	H27.8.17(月)～9.4(金)	FA18×10機 約260人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。
	築城	H27.8.21(金)～9.3(木)	F15×12機 約190人	Ⅱ	嘉手納	無	
	百里	H27.9.7(月)～9.18(金)	FA-18×5機 約80人	Ⅱ	岩国	無	
	グアム	H27.9.11(金)～10.8(木)	FA-18×10機 EA-18× 5機 約440人	ｸﾞｱﾑ	岩国 三沢	無	岩国飛行場及び三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。
	三沢	H27.12.1(火)～12.18(金)	F-15×12機 約300人	Ⅱ	嘉手納	無	千歳基地F15が戦闘機戦闘訓練に参加。
	グアム	H27.12.2(水)～12.18(金)	FA-18×10機 EA-6B× 5機 約420人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。
	新田原	H27.12.8(火) ～12.11(金)	F-15×4機 約50人	Ⅰ	嘉手納	無	
	千歳	H28.1.12(火) ～1.22(金)	FA-18×5機 約70人	Ⅱ	岩国	1名派遣	
	グアム	H28.2.1(月) ～2.28(日)	F-16×14機 約280人	ｸﾞｱﾑ	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。
	グアム	H28.2.7(日) ～2.28(日)	F-15×18機 約460人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。
	小松	H28.3.7(月) ～3.18(金)	FA-18×6機 約70人	Ⅱ	岩国	無	
	計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:1回 百里:1回 新田原:1回 グアム:6回 計:12回		Ⅰ:1回 Ⅱ:5回 ｸﾞｱﾑ:6回	三沢:2回 岩国:7回 嘉手納:4回	1基地派遣	

年度	基地名	訓練期間	参加規模（米軍）	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考
28	計画	グアム等への訓練移転を含み１０回程度の実施を目標に計画予定					H28.4.4通知
	グアム	H28.7.19(火)～8.12(金)	EA-18G×5機　約190人	ｸﾞｱﾑ	三沢	無	三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等への移転
	小　松	H28.7.25(月)～7.29(金)	F-15×5機　約90人	Ⅰ	嘉手納	無	
	グアム	H28.9.8(木)～9.23(金)	F-15×5機 EA-18G×5機　約400人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納 三沢	無	嘉手納飛行場及び三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	グアム	H28.9.8(木)～9.27(火)	F-15×12機　約340人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	千　歳	H28.12.5(月) ～12.16(金)	AV-8B×4機　約90人	Ⅱ	岩国	1名派遣	
	グアム	H29.2.15(水) ～3.3(金)	F-15×12機 FA-18×8機　約700人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場及び岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	グアム	H29.2.15(水) ～3.3(金)	F-16×14機 EA-18×6機　約440人	ｸﾞｱﾑ	三沢	無	三沢納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	計	千　歳:1回　小　松:1回 三　沢:0回　築　城:0回 百　里:0回　新田原:0回 グアム:5回 計:7回		Ⅰ:1回 Ⅱ:1回 ｸﾞｱﾑ:5回	三　沢:3回 岩　国:2回 嘉手納:4回	1基地派遣	
29	計画	グアム等への訓練移転を含み１０回程度の実施を目標に計画予定					H29.3.29通知
	グアム	H29.4.20(木)～5.8(月)	F-15×14機　約270人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	三沢	H29.7.7(金)～7.14(金)	F-15×　6機　約160人	Ⅱ	嘉手納	無	
	百里	H29.7.7(金)～7.21(金)	FA-18×6機　約140人	Ⅱ	岩国	無	
	築城	H29.9.30(土)～10.7(土)	F-16　×6機　約100人	Ⅱ	三沢	無	
	新田原	H30.1.19(金)～1.26(金)	F-15×　6機　約140人	Ⅱ	嘉手納	無	米軍の運用上の都合(火山活動が飛行の安全に影響を及ぼす可能性があるため)中止
	百里	H30.1.22(月)～1.26(金)	F-16　×5機　約100人	Ⅰ	三沢	無	米軍の運用上の都合(米国政府の予算措置の関係上)により中止
	グアム	H30.2.8(木)～3.6(火)	F-15×12機 FA-18×8機　約660人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	グアム	H30.2.12(月)～3.9(金)	F-16×14機　約300人	ｸﾞｱﾑ	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	計	千　歳:0回　小　松:0回 三　沢:1回　築　城:1回 百　里:1回　新田原:0回 グアム:3回 計:6回		Ⅰ:0回 Ⅱ:3回 ｸﾞｱﾑ:3回	三　沢:2回 岩　国:2回 嘉手納:3回	派遣無し	
30	計画	グアム等への訓練移転を含み１０回程度の実施を目標に計画予定					H30.3.16通知
	百里	H30.4.6(金)～4.12(木)	FA-18×5機　約60人	Ⅰ	岩国	無	
	千歳	H30.4.23(月)～4.27(金)	F-16×6機　約100人	Ⅱ	三沢	1名派遣	
	三沢	H30.5.9(水)～5.24(木)	F-35×8機　約140人	Ⅱ	岩国	無	
	小松	H30.7.16(月)～7.20(金)	F-15×6機　約120人	Ⅱ	嘉手納	無	
	グアム	H30.9.4(火)～9.30(日)	F-15×12機 EA-18×5機　約500人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納 三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	グアム	H30.9.4(火)～9.30(日)	FA-18×10機 F-35×8機　約960人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	グアム	H30.9.10(月)～9.21(金)	F-15×12機　約290人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	新田原	H30.10.27(土)～11.8(木)	F-15×8機　約140人	Ⅱ	嘉手納	無	
	築城	H30.11.5(月)～11.8(木)	F-16×6機　約 80人	Ⅱ	三沢	無	
	グアム	H31.2.11(月)～3.7(木)	F-16×14機　約310人	ｸﾞｱﾑ	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	グアム	H31.2.13(水)～3.12(火)	F-15×12機 FA-18×10機　約670人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	グアム	H31.3.11(月)～3.29(金)	FA-18×17機　約400人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	計	千　歳:1回　小　松:1回 三　沢:1回　築　城:1回 百　里:1回　新田原:1回 グアム:6回 計:12回		Ⅰ:1回 Ⅱ:5回 ｸﾞｱﾑ:6回	三　沢:4回 岩　国:5回 嘉手納:5回	1基地派遣	

年度	基地名	訓練期間	参加規模（米軍）	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考
令和元年度	計画	グアム等への訓練移転を含み１０回程度の実施を目標に計画予定					H31.3.25通知
	グアム	H31.4.22(月)～4.27(土)	F-15×6機 F-16×6機　約270人	グアム	嘉手納 三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	グアム	R1.6.3(月)～6.28(金)	FA-18×10機　約200人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	小松	R1.10.1(火)～10.4(金)	F-16×6機　約100人	Ⅱ	三沢	無	
	三沢	R1.10.10(木)～11.4(月)	FA-18×12機 約170人	Ⅱ	岩国	無	土日祝並びに10/10、11、28日は訓練は行われていない。
	グアム	R2.1.27（月）～2.6（木）	F-15×12機　約210人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	グアム	R2.1.31（金）～3.6（金）	F-16×14機 EA-18×5機　約430人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週4日実施
	グアム	R2.2.4（火）～3.11（水）	F-15×12機　FA-18×10機 E-3×2機　KC-135×2機　約680人	グアム	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週4日実施
	グアム	R2.3.2(月)～3.26(木)	FA-18×16機、EA-18×3機 E-2D×4機　約510人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週5日実施
	グアム	R2.3.6(金)～3.31(火)	FA-18×16機、EA-18×3機 約430人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週5日実施
	計	千　歳:0回　小　松:1回 三　沢:1回　築　城:0回 百　里:0回　新田原:0回 グアム:7回 計:9回		Ⅰ:0回 Ⅱ:2回 グアム:7回	三　沢:3回 岩　国:5回 嘉手納:3回	派遣無し	
2年度	計画	グアム等への訓練移転を含み１０回程度の実施を目標に計画予定					R2.3.30通知
	千歳	R2.8.24(月)～8.28(金)	F-15×6機 F-16×6機　約200人	Ⅱ	嘉手納 三沢	1名派遣	
	新田原	R2.10.26(月)～11.5(木)	F-15×12機　約200人	Ⅱ	嘉手納	無	
	グアム	R3.2.1（月）～2.28（日）	F-16×15機　EA-18G×5機 約520人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週5日実施
	グアム	R3.2.3（水）～2.19（金）	F-15×14機　E-3×2機 約370人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週5日実施
	グアム	R3.2.3（水）～3.9（火）	FA-18×12機　約310名	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週5日実施
	計	千　歳:1回　小　松:0回 三　沢:0回　築　城:0回 百　里:0回　新田原:1回 グアム:3回 計:5回		Ⅰ:0回 Ⅱ:2回 グアム:3回	三　沢:2回 岩　国:1回 嘉手納:3回	1基地派遣	
3年度	計画	グアム等への訓練移転を含み１０回程度の実施を目標に計画予定					R3.6.10通知
	グアム	R3.6.17(木)～7.14(水)	FA-18×12機　EA-18G×5機 約470人	グアム	岩国 三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週4日実施
	グアム	R3.8.4(水)～9.3(金)	FA-18×12機　EA-18G×5機 約480人	グアム	岩国 三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週4日実施
	千歳	R3.9.13(月)～9.22(水)	F-15×12機　E-3C×1機 約240人	Ⅱ	嘉手納	1名派遣	
	百里	R3.12.13(月)～12.17(金)	FA-18×8機　約170人	Ⅱ	岩国	無	
	グアム	R4.1.24(月)～2.23(水)	FA-18×10機　EA-18×5機 約400人	グアム	岩国 三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週4日実施
	グアム	R4.1.27(木)～2.24(木)	F-16×14機　約240人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週5日実施
	グアム	R4.1.31(月)～2.18(金)	F-15×12機　KC-135×2機 E-3×2機　C-12×1機 約560人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週5日実施
	グアム	R4.3.11(金)～3.29(火)	FA-18×16機　E-2D×4機 約420人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週5日実施
	グアム	R4.3.13(日)～3.31(木)	FA-18×16機　約290人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週5日実施
	築城	R4.3.22(火)～3.25(金)	F-15×6機　F-2×6機 約110人	Ⅱ	嘉手納	無	
	計	千　歳:1回　小　松:0回 三　沢:0回　築　城:1回 百　里:1回　新田原:0回 グアム:7回 計:10回		Ⅰ:0回 Ⅱ:2回 グアム:7回	三　沢:4回 岩　国:6回 嘉手納:3回	1基地派遣	

年度	基地名	訓練期間	参加規模（米軍）	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考
4年度	計画 グアム等への訓練移転を含み１０回程度の実施を目標に計画予定						R4.3.11通知
	グアム	R4.5.30(月)～6.17(金)	FA-18×12機　F-35B×8機 KC-130×2機　約380人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週5日実施
	グアム	R4.8.1(月)～9.2(金)	FA-18×12機　EA-18G×5機 約420人	ｸﾞｱﾑ	岩国 三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週5日実施
	小松	R4.8.29(月)～9.2(金)	F-16×6機　F-15×6機 約90人	Ⅱ	三沢	無	
	新田原	R4.11.8(火)～11.18(金)	FA-18×10機　F-15×8機 約110人	Ⅱ	岩国	無	
	築城	R4.11.10(木)～11.18(金)	F-15×12機　F-2×12機 約190人	Ⅱ	嘉手納	無	
	百里	R4.11.10(木)～11.18(金)	F-16×12機　F-2×8機 約130人	Ⅱ	三沢	無	
	グアム	R5.1.24(火)～2.27(月)	FA-18×12機　EA-18G×5機 約480人	ｸﾞｱﾑ	岩国 三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週4日実施
	グアム	R5.2.6(月)～2.24(金)	F-15×12機　KC-135×3機 C-130×3機　E-3×2機 約520人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週5日実施
	グアム	R5.2.8(水)～3.2(木)	F-16×12機　約260人	ｸﾞｱﾑ	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は週5日実施
	グアム	R5.3.13(月)～3.27(月)	FA-18×16機　約340人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転
	計	千　歳:0回　小　松:1回 三　沢:0回　築　城:1回 百　里:1回　新田原:1回 グアム:6回 計:10回		Ⅰ:0回 Ⅱ:4回 ｸﾞｱﾑ:6回	三　沢:5回 岩　国:5回 嘉手納:2回	派遣無し	
5年度	計画 グアム等への訓練移転を含み１０回程度の実施を目標に計画予定						R5.3.8通知
	アラスカ	R5.8.8(火)～9.8(金)	F-35B×13機 KC-130J×2機　約270人	ｱﾗｽｶ	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練を米国アラスカ州へ移転 訓練は週4日実施 ⇒米軍の運用上の都合により中止
	千歳	R5.9.26(火)～10.4(水)	F-16×12機　E-3G×1機 約220人	Ⅱ	三沢	1名派遣	
	築城	R5.12.5(火)～12.15(金)	F-35A×12機　約200人	Ⅱ	嘉手納	無	
	新田原	R5.12.8(金)～12.20(水)	FA-18×10機　KC-130×1機 約300人	Ⅱ	岩国	無	
	百里	R6.1.29(月)～2.8(木)	F-16×12機　約160人	Ⅱ	三沢	無	
	グアム	R6.1.25(木)～2.23(金)	FA-18×12機 KC-130J×2機　約260人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	米軍飛行場周辺地域における訓練活動の影響軽減のため実施
	グアム	R6.2.5(月)～2.23(金)	F-15C×12機　KC-135×3機 C-130×3機　C-12×1機 E-3×2機　約520人	ｸﾞｱﾑ	嘉手納	無	米軍飛行場周辺地域における訓練活動の影響軽減のため実施
	グアム	R6.2.5(月)～3.1(金)	F-16×12機　約190人	ｸﾞｱﾑ	三沢	無	米軍飛行場周辺地域における訓練活動の影響軽減のため実施
	グアム	R6.3.11(月)～3.22(金)	FA-18×16機　E-2D×3機 約340人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	米軍飛行場周辺地域における訓練活動の影響軽減のため実施
	グアム	R6.3.13(水)～3.24(日)	FA-18×16機　約310人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	米軍飛行場周辺地域における訓練活動の影響軽減のため実施
	計	千　歳:1回　小　松:0回 三　沢:0回　築　城:1回 百　里:1回　新田原:1回 グアム:5回　アラスカ:0回 計:9回		Ⅰ:0回 Ⅱ:4回 ｸﾞｱﾑ:5回 ｱﾗｽｶ:0回	三　沢:3回 岩　国:4回 嘉手納:2回	1基地派遣	

年度	基地名	訓　練　期　間	参 加 規 模 (米 軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備　　考
6年度	計　画	グアム等への訓練移転を含み１０回程度の実施を目標に計画予定					R6.3.22通知
	アラスカ	R6.5.13(月)～6.14(金)	F-16×12機　約210人	ｱﾗｽｶ	三沢	無	米軍飛行場周辺地域における訓練活動の影響軽減のため実施
	グアム	R6.5.17(金)～6.17(月)	F-35B×10機　約270人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	米軍飛行場周辺地域における訓練活動の影響軽減のため実施
	グアム	R6.5.20(月)～6.21(金)	FA-18C×6機、FA-18D×6機、KC-130J×2機 約310人	ｸﾞｱﾑ	岩国	無	米軍飛行場周辺地域における訓練活動の影響軽減のため実施
	グアム	R6.6.7(金)～6.18(火)	F-22×10機 約160人(嘉手納)、EA-18G×5機 約130人(三沢)	ｸﾞｱﾑ	嘉手納 三沢	無	米軍飛行場における訓練活動の地元への影響軽減のため実施
	アラスカ	R6.7.31(水)～8.30(金)	F-16×12機 約200人	ｱﾗｽｶ	三沢	無	米軍飛行場における訓練活動の地元への影響軽減のため実施
	新田原	R6.10.21(月)～11.1(金)	F-35×6機、F-22×6機 約200人	Ⅱ	①岩国 ②嘉手納	無	二国間の相互運用性の向上と、米軍飛行場における訓練活動の影響軽減のため実施
	千歳	R6.10.21(月)～11.1(金)	F-16×12機　約180人	Ⅱ	三沢	1名派遣	二国間の相互運用性の向上と、米軍飛行場における訓練活動の影響軽減のため実施
	小松	R6.10.28(月)～11.1(金)	FA-18×6機　約80人	Ⅱ	岩国	無	二国間の相互運用性の向上と、米軍飛行場における訓練活動の影響軽減のため実施
	築城	R6.10.21(月)～11.1(金)	F-16×10機　約180人	Ⅱ	嘉手納	無	二国間の相互運用性の向上と、米軍飛行場における訓練活動の影響軽減のため実施
	計	千　歳:1回　小　松:1回 三　沢:0回　築　城:1回 百　里:0回　新田原:1回 グアム:3回　アラスカ:2回 計:9回		Ⅰ:0回 Ⅱ:5回 ｸﾞｱﾑ:3回 ｱﾗｽｶ:2回	三　沢:4回 岩　国:4回 嘉手納:3回		

資料２－１

（お知らせ）

令和６年６月６日
防　　衛　　省

米軍再編に係るグアム等への航空機訓練移転について

米軍再編に係るグアム等への航空機訓練移転（単独訓練）を、下記のとおり実施しますので、お知らせします。

今般の訓練移転は、平成１８年度以降、１４４回目となります。

グアム等への訓練移転は、米軍飛行場における訓練活動の地元への影響軽減のために実施されるものです。

嘉手納飛行場及び三沢飛行場からグアム等への航空機訓練移転

○訓練期間：令和６年６月７日（金）～６月１８日（火）
○参加部隊：第１８航空団（嘉手納）及び第１３８電子攻撃飛行隊（三沢）
○参加規模：Ｆ－２２×１０機程度、人員１６０名程度（嘉手納）
　　ＥＡ－１８Ｇ×５機程度、人員１３０名程度（三沢）

※１　訓練期間の前後に、訓練参加機及び人員・物資の輸送機の展開・撤収が行われる予定です。
※２　本内容については、今後、変更される場合があります。

（お知らせ）

令和6年7月26日
防　　衛　　省

米軍再編に係る三沢飛行場から米国アラスカ州への訓練移転について

米軍再編に係る三沢飛行場から米国アラスカ州への訓練移転（単独訓練）について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

今般の訓練移転は、平成18年度以降、145回目となります。

米国アラスカ州への訓練移転は、米軍飛行場周辺地域における訓練活動の影響軽減のために実施されるものです。

○ 訓練期間：令和6年7月31日（水）～8月30日（金）

○ 参加部隊：第35戦闘航空団（三沢）

○ 訓練場所：米国アラスカ州のアイルソン空軍基地

○ 演練項目：戦闘機戦闘訓練等

○ 参加規模：Ｆ－16×12機程度
　　人員200名程度

※本内容については、今後、変更される場合があります。

（お知らせ）

令和６年９月２５日
防　　衛　　省

米軍再編に係る岩国飛行場及び嘉手納飛行場から新田原基地への訓練移転について

米軍再編に係る岩国飛行場及び嘉手納飛行場から新田原基地への訓練移転（日米共同訓練）を下記のとおり実施しますので、お知らせします。

今般の訓練移転は１４６回目及び１４７回目です。

国内への訓練移転は、平成１８年５月の「再編の実施のための日米ロードマップ」に基づき、二国間の相互運用性の向上と米軍飛行場における訓練活動の影響の軽減のために行われるものです。

記

１．訓練期間：令和６年１０月２１日（月）～１１月１日（金）
※　訓練期間の前後に、訓練参加機及び人員・物資の輸送機の展開・撤収が行われる予定

２．使用基地：航空自衛隊新田原基地

３．使用空域：四国沖空域、九州西方空域

４．訓練内容：戦闘機戦闘訓練等

５．参加部隊：（米　軍）第１２海兵航空群（岩国）、第１８航空団（嘉手納）
（自衛隊）第５航空団（新田原）

６．参加規模：タイプⅡ
（米　軍）Ｆ－３５×６機程度、Ｆ－２２×６機程度、人員１７０名程度
（自衛隊）Ｆ－１５×１２機程度

※１　岩国基地所属のＦ－３５×６機程度は、１０月２８日（月）から訓練に参加する予定です。
※２　本内容については、今後、変更される場合があります。

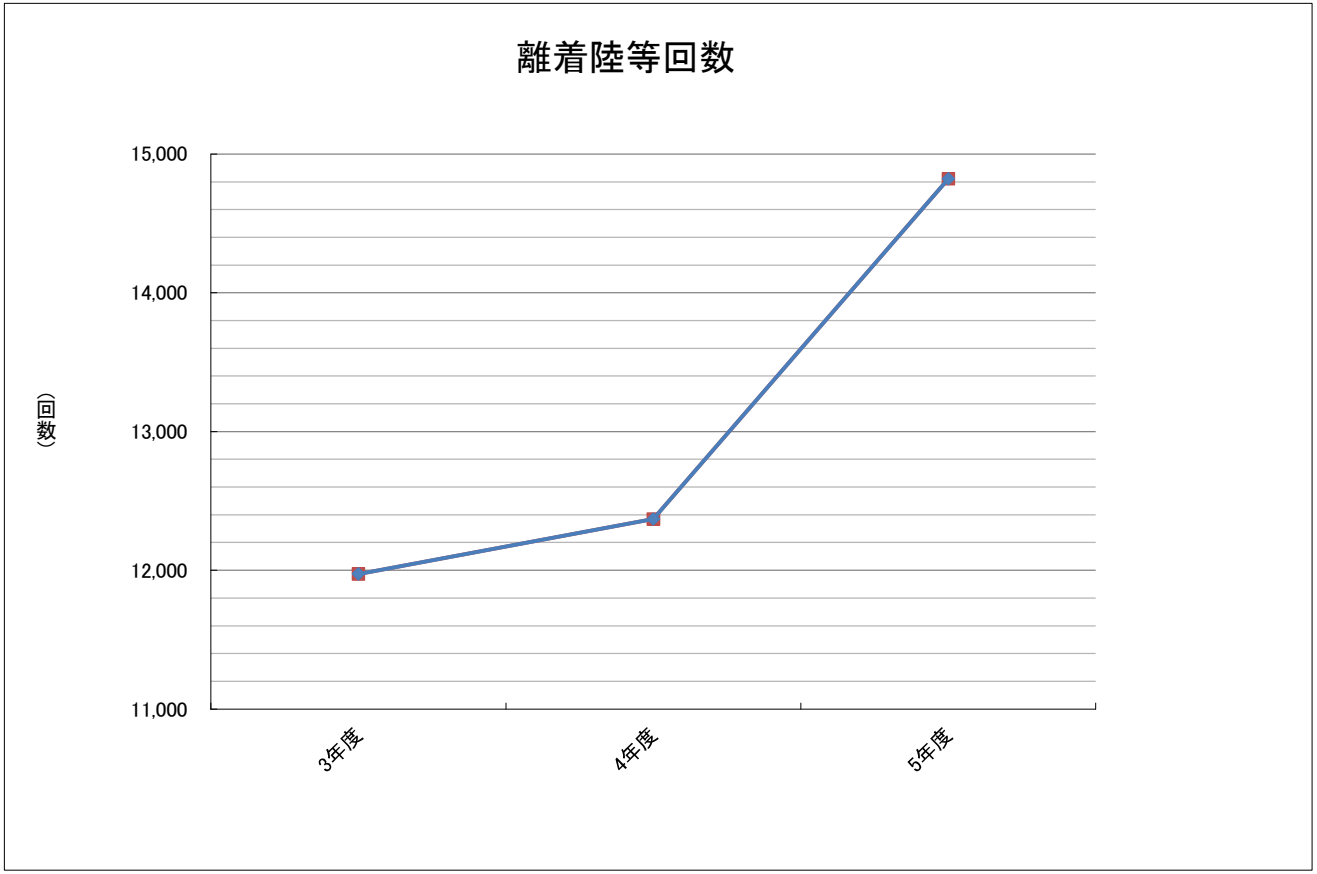
資料２－２

米軍再編に係る訓練移転に関する沖縄県の負担軽減調査結果

照会項目		沖縄市	嘉手納町	北谷町
(1)令和５年度の環境基準超過日数を教えてください。	R4年度（前回）	市内の５ケ所の測定局 266 日	町内の５ケ所の測定局 754 日	町内の５ケ所の測定局 282 日
	R5年度（今回）	市内の５ケ所の測定局 418 日	町内の５ケ所の測定局 655 日	町内の５ケ所の測定局 402 日
２ヵ年度の比較		152 日	-99 日	120 日
(2)令和５年度の訓練移転実施により、貴市（町）への負担が軽減されたとお考えですか。		各航空機騒音測定局における環境基準の超過日数は418日で、苦情件数487件とともに過去最高となっております。 航空機騒音等に関する苦情は増加傾向にあり、訓練移転による負担軽減がなかなか実感できない状況にあります。	F-15の退役に伴うローテーション配備により、F-35やF-15Eなどが飛来した影響もあり、環境基準超過日数が嘉手納Ａ局で216日、屋良局で215日、嘉手納B局で195日と依然として大きな負担を強いられているのが現状です。 本町は、訓練移転をはじめとしたあらゆる負担軽減策を実施していただくよう、政府及び関係機関に対し要請を行っています。	嘉手納飛行場においては、県外及び国外から外来機が飛来している状況で、騒音発生総回数は前年より２％増加、100dB以上の騒音も約41％増加しております。 本町としては、住民の日常を航空機騒音に脅かされる現状は依然変わらず、負担軽減はされていないと考えております。

嘉手納飛行場における外来機の離着陸等状況

回数	R3年度	R4年度	R5年度
4月	781	1,028	1,070
5月	737	977	1,039
6月	723	1,371	986
7月	789	1,039	2,034
8月	1,242	958	1,192
9月	1,040	725	1,179
10月	1,120	841	2,066
11月	1,201	916	1,071
12月	988	1,002	1,172
1月	857	1,367	1,057
2月	1,134	921	843
3月	1,362	1,225	1,112
合計	11,974	12,370	14,821



※離着陸等を行った回数については、沖縄防衛局が目視により把握したものを集計。

※離着陸等とは、離陸、着陸、タッチ・アンド・ゴー、通過、旋回を指す。